

卒業セミナーⅠ

科目ナンバリング SEM-401

選択必修 2単位

筒井 史緒

1. 授業の概要(ねらい)

グローバルであるとは、英語を話せることとは関係ありません。様々な価値観をもつ他者との相互理解という困難な事業を、深い関心と敬意をもってたゆまず行うことです。また自己の価値観が当たり前でないことを知り、自らを俯瞰し、知りつづけることです。哲学対話は、自由に聴き、話し、考える営みを通して、自己および他者と対話し、「当たり前」のなかに隠された思い込みや独断にゆきあたりながら、生きるための力＝自由を獲得するプロセスです。このプロセスを通じ、自己を俯瞰し、自らの意志で人生を選択し、他者と理解しあう、真にグローバルなマインドを養います。年に数回、アートやボディワークなどを中心としたプロフェッショナルのゲストによるワークショップを開催することで、単なる思考ゲームに終わらない、事実と根差した深い感性による思考を養います。

2. 授業の到達目標

他者と自己への敬意と関心をもつ。

当たり前だと思っている思考の前提を問う。

自分の意見を自分で感じ、知り、その理由を考え、それを他者に理解しやすいように表現する。

自己の枠をとりはらってゆく。

3. 成績評価の方法および基準

授業の参加度によって評価。

4. 教科書・参考文献

参考文献

梶谷真司 考えるとはどういうことか 0歳から100歳までの哲学入門 幻冬舎新書

5. 準備学修の内容

ふだんから自己を俯瞰し、自己の思考を問い直し、当たり前から自由になり、枠をとりはらうことができないか、試行錯誤しつづけること。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------|
| 【第1回】 | 哲学対話の説明 |
| 【第2回】 | アイスブレイク、哲学対話実践 |
| 【第3回】 | 哲学対話実践 |
| 【第4回】 | 哲学対話実践 |
| 【第5回】 | 哲学対話実践 |
| 【第6回】 | 哲学対話実践 |
| 【第7回】 | 哲学対話実践 |
| 【第8回】 | 哲学対話実践 |
| 【第9回】 | 哲学対話実践 |
| 【第10回】 | 哲学対話実践 |
| 【第11回】 | 哲学対話実践 |
| 【第12回】 | 哲学対話実践 |
| 【第13回】 | 哲学対話実践 |
| 【第14回】 | 哲学対話実践 |
| 【第15回】 | 哲学対話実践、まとめ |